

# 大学生の契約(契約書)における リスク回避のための ツール開発プロジェクト

# 目次

- ・ 背景
- ・ プロジェクトの概要（機能etc...）
- ・ LLMとは？
- ・ プロジェクト内容（ユースケース）
- ・ プロジェクトのメリット
- ・ まとめ

# 背景

## 仮説

- ・ 大学生は契約において不利益を被りやすい（賃貸・バイト・就職）
- ・ 契約文書が長いとしっかりと読み込む人が少なくなる、見落としが発生する

## 現状でできること

- ・ 契約書の作成側のリーガルチェックのサポートAIはあったが、顧客側のサポートはなかった

# プロジェクト概要

目的：契約者が契約書に関わる損失を回避し、効率的に契約文書を理解する

ターゲット：大学生（バイト応募者・賃貸契約者・金銭の貸借契約者）

機能：

- ・ 似た傾向の文書との比較とリスクの提示
- ・ 不利益となる可能性のある文章の検出
- ・ 文書の要約
- ・ 硬い文章の柔らかい文章への変換
- ・ 難しい言葉の解説or解説ページへのリンク付け

# 使用するデータ

- ・ ChatGPTがベース
- ・ 契約書類のデータをLLMに読み込ませる
- ・ Webサイトなどからおかしい文書の例などを学習させる

＝判例の学習

裁判所が公開  
している民事  
事件の記録

LLMを使うと読み込ませることのできるデータの幅が広がる

# LLMとは？

## LLM（Language Model for Language Model）

- 複数の自然言語処理モデルを組み合わせる技術。
- 異なるモデルの強みを活かし、広範なタスクに対応可能。
- モデル間の補完を通じて、タスクの多様性に対応。

## Chat-GPT

- GPTの変種で、対話に特化したモデル。
- リアルタイムの対話に適しており、自然で流暢な対話を生成。
- 対話をより自然なものに近づける能力を持つ。

# システム構成図(1)



## システム構築図(2)

契約文書の写真を撮る



機能: 「要約・用語簡易化」





# プロジェクトのユースケース ①リスク表示

## ①不利益となる可能性のある文章の検出

1. ユーザが契約書を撮影。
2. ユーザがシステムへ写真をアップロード
3. システムがテキストを受け取る。

# 判例や法律を読み込ませたLLMが用意されているものとする

4. システムが法律LLMを介して契約書の問題点をピックアップ
5. システムがユーザに契約書の問題点を表示
6. ユーザが問題点を確認

## プロジェクトのユースケース ②用語簡易化

②契約書の要約・硬い文章の柔らかい文章への変換・難しい言葉の解説or解説ページへのリンク付け

1. ユーザが契約書を撮影。システムがテキスト化
2. システムがテキストを読込む
3. システムが**ChatGPT**を用い、テキストを要約・読みやすい文章へ変換
4. システムが3で作成した文章から、自然言語処理で法律用語を抽出する
5. システムが、抽出した法律用語と用語集のページリンクを繋げる
6. システムがユーザに3の文章と5のリンクを提示
7. ユーザが契約書の要約と法律用語を確認

## プロジェクトのメリット・新規性

- 契約においてのリスク回避・自己防衛
- 契約書を読む時間の節約
- 大学生の法律に対する意識の向上・リテラシーを身につけられる

# まとめ

大学生をターゲットとした契約時の契約書におけるリスク回避のためのツールを提案した。

- ・ 似た傾向の文書との比較とリスクの提示
- ・ 不利益となる可能性のある文章の検出
- ・ 文書の要約
- ・ 硬い文章の柔らかい文章への変換
- ・ 難しい言葉の解説or解説ページへのリンク付け

の機能を開発し、ユーザに提供することを想定した。

このプロジェクトで契約者が契約書に関わる損失を回避し、効率的に契約文書を理解することができる考えた。